



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
97.3.13 No. 4562

全力で3.19ストへ

97春闘ストの課題②

幕電の融合化 攻撃許すな!

幕張電車区における構内と仕業の融合化攻撃は、人員削減のために、安全や高齢者対策を切り捨てる断じて許すことのできない攻撃だ。構内の運転・検査業務は事故の発生ひん度が最も高い業務だ。机上の論理だけで融合化し、ギリギリまで作業密度をあげたとき、事故のひん発は避けることができなくなる。

他方、この融合化で、本線運転士からは、高齢者が下りる場が奪われてしまうことになる。

しかも、今回の攻撃は単なる融合化攻撃であるとは考えられない。「構内作業全面外注化」の布石をなす攻撃だ。

しかも千葉支社は、これを組織破壊、強制的な労務政策・労務管理強化と一体の攻撃として仕掛けていく。非効率なばかり何の意味もないワンフロアー化や、検修関係のタライ回しのな配転、鉄産労の幕張への送り込みは、明らかな動労千葉・国労破壊攻撃である。

今検修職場は、①一五年もの間新採が配置されていないこと
②技術者の養成システムが全く存在しないこと、③十年に及ぶ革マル結託支配による職場の歪み、④無理な要員削減の繰り返しを背景として、年令構成の歪み、技術断層の深刻化、車両故障の多発、職制や業務遂行そのもののあり方の歪み等が顕在化

【四五六〇号より続く】

し、矛盾が堆積している。今回の融合化攻撃が、こうした矛盾に拍車をかけることとなるのは明らかだ。検修合理化攻撃を粉碎しよう!

強制配転者を 原職に戻せ!

さらにわれわれは、三・一九ストライキで、強制配転者の原職復帰を強く求める!

分割・民営化から満十年は目前だ。千葉支社は、十年以上に及んで強制配転者の「塩漬け」攻撃を続けている。団交が行なわれても、当局自身、何ひとつ理由を述べることができないように、ここに現在の労務政策の異常さが凝縮して示されている。

JR総連・革マルと結託し、人事にまで介入されて恥じないような管理者は管理者としての資格そのものがないということだ。動労千葉の組合員であるというだけで、何の理由もなく十年ものあいだ差別し、虐待し続けるようなやり方は絶対に許さない。いつかこのツケは払ってもらえない。千葉支社は、直ちに強制配転者を原職に戻せ!

JR総連を 解体しよう!

JR総連は、今組織崩壊の危機にたっている。革マルの組合支配に我慢できなくなった「平成採」の若者たちが、次々とJR総連を脱退し始めている。長

1. 97春闘勝利・貨物格差粉碎!
2. 3・22ダイ改合理化粉碎・運転保安確立!
* 左倉機関区廃止・検修外注化阻止
* 幕張電車区における構内・仕業融合化阻止!
* 昨年12月ダイ改以降の懸案要求の実現!
3. 強制配転者の原職復帰・一切の不当労働行為根絶!
4. JR総連解体—組織強化・拡大!

- 【スト拠点/対象者】
- (1) 幕張電車区的全組合員。
 - (2) 新小岩・左倉機関区の地上勤務者。
 - (3) スト当日は、全組合員を対象に、時間外・休日労働、所定以外の業務は一切行なわない。
- ★ 勤務以外の全組合員は、13時千葉市民会館集合

野で、高崎で、吹田で、岡山で、東京で、脱退が相次いでいる。広島・岩国では、「このままでは若い者の将来に不安」と、五〇名もの運転士が次々脱退した。一方JR総連内部もガタガタだ。長野ではJR東野組長野地本の副委員長が呼びかけた「JR東日本虫下しの会」を巡って、「組織破壊行為」だとの大騒ぎが始まっている。新潟では、サークル協同芸部総会の呼びかけ文が、「組織破壊行為」だと認定され新たな肅正劇が始まっている。東京では、グリーンユニオン結成に係わった東野組東京地本前副委員長が大塚駅長に「出世」したことをめぐって中央委員会が「労務政策が変わった

